

茨城県の防災啓発イベント「いばらき学ぼうさい」に参画

～いばらきの地震に備える動画・リーフレット「学ぶ 備える いばらきの地震」による啓発～

日本損害保険協会関東支部 茨城損保会（会長：河上 精二 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店 理事 支店長）では、3月9日（土）に県主催で開催された「いばらき学ぼうさい」（イオンモール水戸内原）に参画しました。当イベントは、近年頻発化している自然災害への関心や災害へ備えの重要性など、県民の防災意識向上を図ることを目的として開催され、11のブース出展、救急救命の実演・講習、はしご車・パネルの展示、スタンプラリーの実施などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

当日は、メインコートステージにて、河上茨城損保会長から「茨城損保会では、県や県警などと連携し、事故・災害・犯罪の防止および軽減に向けた啓発を行っているが、本日は災害の一つである地震と、地震から身を守るための自助の一つとなる地震保険についてのブースを出展した。」旨の説明がありました。

ブースでは、茨城県出身のウェザーニュースキャスター・檜山沙耶氏が先生となって出演する啓発動画を上映すると共に、来場者に対して地震保険クイズを実施しました。

クイズでは、地震保険は、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険であることや、地震による火災での家屋の消失は、火災保険で補償されないこと、契約は火災保険にセットして契約すること、30年以内に水戸市で震度6弱以上の地震が発生する確率は81%となっていることを出題しました。また、2種のリーフレット（「備えて安心 地震保険の話」「学ぶ 備える いばらきの地震」）を提供し、詳細説明を行いました。その結果、来場者からは「地震による火災は、火災保険で補償されないことを知らなかったので、地震保険を検討します。」といった声や「水戸市の地震発生確率がこんなに高いとは思いませんでした。」といった声、地震保険の年間保険料など様々な質問が寄せられました。

茨城県は他県に比べて、地震の発生確率が高いにも関わらず、地震保険の付帯率が全国平均を下回っていることなどから、当支部では、今後も引き続き、地震リスクとそれに備える地震保険の加入促進に向けて、県や茨城県地震保険・共済加入促進協議会と連携して周知啓発に取り組んでまいります。



河上茨城損保会長からの説明



ブースで説明を受ける来場者



檜山沙耶氏出演動画の上映



「学ぶ 備える いばらきの地震」パネル展示

<さやっち先生が教える！いばらき講座>



地震編 <https://youtu.be/8KxQHWuC3Xo>



風水害編 <https://youtu.be/J44kMfxLgYg>

